

沖縄通信ゆいゆーる

第 5 号
2011 年 9 月 26 日発行
編集: 広報委員会
沖縄県診療情報管理研究会



北中城若松病院から望む 世界遺産・中城城跡

C O N T E N T S

- 2 定例勉強会 (医療統計学 3/19・8/27)
- 3 定例勉強会 in 沖縄赤十字病院 (東日本大震災医療班派遣報告会)
- 4 意見交換会・沖縄赤十字病院施設見学
- 5 がん登録研修会 (平成 23 年度 第 1 回 5/21、第 2 回 7/30)
- 6 ~ 7 施設紹介 (県立八重山病院・那覇市立病院)
- 8 お知らせ・編集後記



沖研勉強会報告!

沖研勉強会紹介:医療統計学

沖研の定例勉強会として 4/16 コーディング(皮膚疾患)、3/19・8/27 に医療統計学の勉強会を開催しました。今回は 8/27 に行われた医療統計学(初心者向け)の勉強会の紹介を致します。

開催日:平成 23 年 8 月 27 日(土曜) 16:30~18:00 場所:ちばなクリニック 講師:長浜宗敏さん

3/19 の統計学勉強会では「内容が難しい」という声があり、今回は“初心者向け”とテーマを少し絞り、講師の長浜さんが様々な工夫をこらしたワークショップ形式で開催されました。

5~6 名グループにわかれグループ内で自己紹介。「医療統計学の何が難しいと感じるか」話し合い、意見をまとめて発表。

長浜さんの講義。平均と中央値の違い、分散・標準偏差、記述統計学から推測統計学・・・など問題をグループワークで解き、長浜さんによる解答&説明

申込は 40 名定員でしたが最終的に 50 名を超える大勢の参加となり、皆さんの熱いパワーを感じました。

勉強会に参加して

今回は、インターンシップ期間中で、実習先担当の方からお声をかけていただき参加しました。今回は統計学ということで、学生である私たちも、難しく感じていて、実際現場で働いている社会人の方々も、難しく感じているようでした。ですが、今回の勉強会がグループ形式だったということで、普段関わることのできない色々な病院で勤めている方々との情報交換がいろいろ出来ましたので、とても勉強になりました。

今後も、このような機会があればぜひ参加していきたいと思います。

名桜大学 3 年次診療情報管理専攻
呉屋 亮太

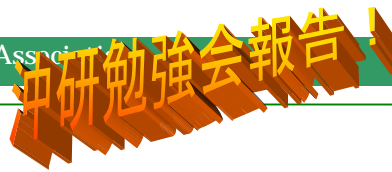


グループをまわり、丁寧に説明する長浜さん

参加者 皆で
記念撮影



定例勉強会 in 沖縄赤十字病院



東日本大震災により被災された方々、および医療機関とその関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

平成 23 年 6 月 18 日(土)、沖縄赤十字病院において、同院第 2 外科部長宮城淳先生による「東日本大震災医療班派遣報告会」が開催されました。引き続き意見交換会、施設見学も行われました。

東日本大震災医療班派遣報告会



生の体験談に衝撃

今回はいつもの勉強会と違い、赤十字病院の外科医・宮城先生の報告会がテーマでした。マスコミの報道では得られない生の体験談や映像に衝撃を受けました。

遊びながらの子供達の会話が、生きている？いなくなった？など日常会話だと…。目頭が熱くなる報告会でもありました。宮城先生、素晴らしい体験談をありがとうございました。

その後、新しくリニューアルしました赤十字病院の見学をさせていただくことができました。絵画が多く飾られ、パステル調の柔らかい和まされる感じの印象でした。

冲研の勉強会はテーマが豊富で、他県ではない交流会になっているのではないのでしょうか？今後もよろしくお願いします。

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
中央病歴管理室 大小堀 雅子

【参考資料】平成 23 年 3 月 31 日付 厚生労働省事務連絡

1. 震災により診療録等を滅失した場合の取扱い

(1) (略) 診療録等について、医療機関等において適切な管理の下保存していたにもかかわらず、今般の震災によりやむを得ず滅失した場合(略)には、関係法令に基づく保存義務違反には当たらないものと解すること。なお、診療録等の一部に限り滅失した場合には、滅失していない部分について、引き続き、関係法令に基づき、適切に保存を行うこと。(略)

貴重な経験に感謝

残暑厳しい日々が続いていますが、いつのまにか早朝のクマゼミの大合唱も聞こえなくなり、季節は確実に進んでいるのを実感しています。

去る 6 月 18 日(土)に沖縄赤十字病院で開催されました、「東日本大震災の医療班派遣報告」講演会へ参加させていただきました。

一番印象に残ったのは、「映像でにおいては伝わらない」という言葉でした。8月の今もその“に”は消えないと聞きます。テレビ等マスコミを通しての情報しか知りえない私たちには、先生のご報告は興味深く、またショッキングなものでした。今回の講演会を通し、私たちも貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

お忙しいなか、施設見学を計画していただきました山田課長ほか沖縄赤十字病院の職員の皆さまに心より感謝します。

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

O.M

日本赤十字社 支部第 救護班 MEDICAL RELIEF TEAM OF THE JAP			
入院月日 (DATE OF ADMISSION)	病棟 (WARD)	→ F (BED)	医師氏名 (DOCTOR'S NAME)
氏名 (NAME)		性別 (SEX) 男 (M) ・ 女 (F)	傷病名 (SYMPTOM OR DISEASE)
生年月日 (DATE OF BIRTH)	年齢 (AGE)	血液型 (BLOOD TYPE)	既往歴 (PAST-MEDICAL HISTORY)
住所 (ADDRESS)		電話 (PHONE)	転居 (PROGNOSIS)
連絡先 (ADDRESS FOR IMMEDIATE CONTACT)		電話 (PHONE)	転居 (PROGNOSIS)
成人患者 (ADULT PATIENT) 居住場所 (LOCATION)		家族歴 (SOCIAL HISTORY)	
配偶者氏名 (SPOUSE)			
子供氏名 (CHILDREN)			
小児患者 (CHILD PATIENT) 居住場所 (LOCATION)			
父親氏名 (FATHER'S NAME)			
母親氏名 (MOTHER'S NAME)			

日本赤十字社の救護班診療録

表面は患者情報と経過記録欄、裏面は体温表となっている。災害時には海外からの応援もあるため、英語表記は必須。

意見交換会・施設見学

意見交換会には北部地区からの参加もあり、医師事務作業補助者という立場からの積極的な問題提起もありました。引き続き和やかな雰囲気での施設見学も行なわれました(*^_^*)

意見交換会に参加して

意見交換会では「電子カルテになっている病院での帳票類はどうしているの？」のテーマで、皆さんそれぞれの病院の状況を説明し質疑応答が盛んに交わされました。内容が濃厚すぎ？て、時間がもっと欲しかったです。

しかし、抱えていた問題解決の突破口を見出した施設の方達もいたでしょう。やっぱり、こういう場はとっても大切だなあと思つづく思いました。

沖縄県立北部病院
医療クラーク 久保野 美由紀



施設見学

6月定例会の締めには沖縄赤十字病院の施設見学をしました。昨年夏に新設オープンしたばかりのまだまだ新しい香りの残る施設を大山さん、渡名喜さん、西平さんに案内していただきました。

窓に面した外来待合スペースは、明るく開放感に溢れ、患者様もゆったりとした気分で診療を待っていられそうな感じを受けました。一番の印象は、セキュリティが厳重に管理されている点で、ICカードの利用により入退室者の把握がなされていました。

その他、NICUはピンク、外科はブルーというようにフロアごとに色分けがされており、面会者等が利用しやすい工夫がされ、図書室(インターネット利用可)、コンビニ、レストランとアメニティーも充実した環境となっていました。

個人的には、掲示物等も自院に取り入れたいと思うものもあり、これから参考にしたい点満載の沖縄赤十字病院でした。

特定医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院
診療情報管理室 當銘 真里子・與那嶺 千里



外来フロント



グリーンを基調とした6階フロア



病歴管理室内カルテ庫

平成 23 年度がん登録研修会（沖縄県がん診療連携協議会主催）

いつも沖縄県がん診療連携協議会主催のがん登録研修会にご参加いただき誠にありがとうございます。5月21日（土）に浦添総合病院乳腺センター長の蔵下要先生をお招きして「乳癌概論」「乳癌病期分類」について、7月30日（土）には国立がん研究センターがん対策情報センター院内がん登録室長の西本寛先生をお招きし、「肺癌・肝癌の解剖と病期分類」「院内がん登録に関する最新情報」「院内がん登録拠点病院全国集計の結果」などをテーマに講義して頂きました。離島からの参加者を含め合計158名と多くの方に参加して頂きました。

2回の研修会のご感想として、「解剖から説明してくれて解りやすかった」「院内がん登録全国集計のデータが興味深かった。自院でも出してみたい」など大変好評を得ました。本部会では、この研修会が院内がん登録の知識の向上につながり、また他施設の実務者との交流・情報交換の場となること目指して、今後も継続して開催出来るように頑張っていきたいと考えています。

今年度の残り2回の院内がん登録研修会のテーマは、「子宮癌」と「前立腺癌」を予定しています。多くの方のみなさんのご参加をお待ちしております。

沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会
仲本 奈々



「第1回がん登録研修会」に参加して

平成23年5月21日（土）琉球大学医学部附属病院で行われたがん登録研修会に参加させて頂きました。今回の内容は「乳がん」ということで、特に女性にとって身近な病気であり大変興味深い内容でした。先ず始めに、浦添総合病院乳腺センターの蔵下要先生による講演でした。現代、日本は食の欧米化が進み高カロリー・高脂肪・食生活などの環境因子が乳がん発生に重要な因子であることを示唆しています。乳がんの罹患率・死亡率共に年々増加傾向にあるようです。乳がんは早期発見・治療につながれば9割以上が助かるとされ、乳がん検診受診率が7割を超える欧米では約20年前から乳がんによる死亡率は下がっているのに対し、日本では乳がん検診受診率は20%前後とかなり低く日本の死亡率は上がる一方のようです。早期発見がとても大事なことだと考えさせられました。

講演の後には乳がんの病期分類の勉強会をして、乳房の構造の細かさに驚きました。そして実際に演習問題も行いました。部位・病理組織・TNM分類・stage・進展度など、サマリーから読み取り回答していき、とても細かく難しかったのですが面白くてもっとがん登録について勉強したいなと思いました。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
メディカルクラーク 呉屋 幸

「第1回がん登録研修会」に参加して

沖縄県がん診療連携協議会が主催する院内がん登録研修会に参加させて頂きました。今回の研修会では乳がんについて学び、病気分類の演習問題を行いました。講師の蔵下先生に、乳がんの基礎からとても解りやすく教えていただき、乳がんについての

理解が深まりました。手術や薬物療法についても詳しく解説していただき、診療録に記載されている治療内容が具体的にイメージできてとても良かったです。病気分類演習では、私の誤った認識を正す事ができる良い機会となりました。

当院は平成22年度より地域がん登録に参加し、私自身も国立がんセンターが主催する院内がん登録初級者研修会に参加中の身で、今回の研修会はとても勉強になりました。講師の蔵下先生を始め、このような機会を与えてもらったがん診療協議会や沖研の皆様、ありがとうございました。

医療法人和の会 与那原中央病院
診療情報管理室 小浜 良秀

「第2回がん登録研修会」に参加して

私は、国立がんセンター主催の院内がん登録初級者研修会未受講で沖研のがん登録研修会も参加2回目のため、がん登録に対する知識はまだ浅く、登録経験も少ない。そんな私にとって、今回の西本先生の講義は、がん登録において情報を読み取るために必要な、臓器の説明や病期分類についてなど、基礎的な内容で初心者の私にもわかりやすく、とても貴重な講義を受けることが出来ました。統計の講義では、統計は情報をただ収集・集計するのではなく、分析するのしほり、各病院の特徴も考えながら他院との比較をすることが大事であり、分析後仮説をたて、医師へ評価してもらう。それが診療情報管理士の役割であり、改めて診療情報管理士という仕事の重要さを実感しました。これからも勉強会へ積極的に参加し、日々勉強に励みたいと思います。

医療法人友愛会 豊見城中央病院
診療情報管理室 仲宗根 弥希

沖研施設会員紹介コーナー

今回は、沖研の会長、副会長の施設を紹介します。
まずは、松本会長が院長を勤める・・・

沖縄県立八重山病院

八重山医療圏内で12の有人島があり、唯一の総合的な診療体制を備えた地域中核病院です。2005年立ち上げ、今年で7年目に突入です。松本廣嗣院長先生ご指導の下、スタッフ4名（診療情報管理士1名、通教生2名、半日補助1名）

<業務内容>

カルテ回収・整理 量的点検 編綴 コーディング、DPC様式1チェック 疾病統計

<成果>

他病院でもこれまで退院時要約を一枚も記載しなかった先生に全て記載提出してもらえた。診療録の量的点検強化で看護師の記載漏れ、用紙不足が減った。

<課題>

診療録の監査・医療統計の提供・診療情報の二次利用

離島4カ所の附属診療所からの紹介入院が昨年度だけで199件、さらに多良間島や石垣島周辺の海上を航行する船舶からのヘリ急患搬送が多く、業務中に海上保安庁のヘリコプターの音が聞こえた時には、「今日の搭乗Drはだれだろうね・・・」の会話が出るくらい八重山病院の医師は多忙です。診療情報管理室では、チームワーク強化目的に定期飲み会を開催しています。（沖研の皆様、石垣島で勉強会&懇親会開催はいかがでしょうか？）

沖研勉強会に参加したい気持ちは有りますが離島のハンデの為、参加が難しいので積極的にメーリングリストを活用していきたいと思います。

管理士諸先輩方のご指導を宜しくお願い致します。

高本津久美



笑顔の素敵な松本会長

沖研施設会員紹介コーナー

次に系数副会長が勤務する・・・

地方独立行政法人 那覇市立病院

那覇市立病院は1980年5月に開設され、その後2010年4月独立行政法人化し、開設30周年を迎えました。

2003年(財)日本医療機能評価機構認定病院認証、2005年地域がん診療拠点病院指定、2006年12月電子カルテ導入、2008年DPC対象病院承認、2010年地域医療支援病院などの認定を受けた南部の中核医療機関です。

病院開設時より病歴室として業務開始、2003年4月診療情報管理室と名称を変更し、北館地下2階に移転。現在、職員8名(診療情報管理士4名・委託職員4名うち診療情報管理士1名)が業務に従事しています。

医師事務作業補助者の13名も同室で業務を行っています。日々の業務は「診療情報」データの収集と入力、診療録管理、記録監査、データ抽出、がん登録など診療情報管理士に求められる業務は多く、期待に応えられるよう日々奮闘努力しています。

沖縄県診療情報管理研究会会員の皆様には、日々業務で悩んでいる事などにアドバイスを頂き、意見交換を気軽に行える、心強い「仲間」と感じています。当院にお越しの際はお立ち寄りください。地下2階は暗いイメージがあると思いますが、何と明るく静かな場所です。末吉の森やモノレールが見える素敵な景色と美味しいお茶を準備してお待ちしています。 系数民子



今回で9施設の紹介が終わりました。しか～し、沖研参加施設は30施設を超えています。まだ半分を超えていません。にしても皆さんいい笑顔です。お仕事楽しんでますね。きっと。 平良

沖縄県診療情報管理研究会主催 第4回診療情報管理セミナー
テーマ「医療訴訟と診療情報管理」

- 診療情報管理実務者としての心構え -

平成23年10月22日(土) 13:00~17:15
 名城大学 講義棟109教室 (〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1)

プログラム

基調講演：医療訴訟と診療記録について - 弁護士の立場より -
 講師：阿波連法律事務所 弁護士 赤嶺 真也 先生
 教育講演：医療訴訟への対応と心構え - 診療情報管理実務者の立場より -
 講師：滋賀県立成人病センター 医事課 兼 医療情報室 参事 田中 一史氏

参加費：会員（施設・個人）無料（事前申し込み要） 会員以外 1,000 円
 学生 学生証提示で無料（事前申込者のみ）

申込方法：冲研ホームページ内の申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXで
 お送り下さい。

FAX：098-857-6554（送信状不要）

申込締切日：平成23年10月14日（金）17:00 必着

問合せ先：沖縄県診療情報管理研究会 事務局まで

E-mail：oki-jimukyoku@umin.ac.jp

*「沖縄県診療情報管理研究会」ホームページでもご案内しています。

沖縄初開催

日本診療情報管理学会主催

診療情報管理士生涯教育研修会

平成23年11月19日（土）

沖縄産業支援センター（〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1）

* 詳細は今後発表予定です。「日本診療情報管理学会」ホームページでご確認をお願いします。
<http://www.jhim.jp/>

【編集後記】沖縄県診療情報管理研究会も早6年目を迎えました。今年度より広報委員を務めさせていただきます。役員になって知る役員のありがたみといいですか、これまで冲研を創られてきた前役員の方々が本当にお疲れ様でした。定例勉強会の参加者も増え、内容も充実し、ますます活発になっている冲研の活動を今後も内外に広めていきたいと思ひます。みなさまの変わらぬご協力をよろしくお祈ひします。（久保田）

お疲れニヤン（コア）

